

科目名	ジェンダー論 —男女・家族・地域社会の共生関係を考える—			ナンバリング	GEN223	授業形態	講義
対象学年	1年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2単位
代表教員	菊池真弓	担当教員					

授業の概要	ジェンダーとは、社会的・文化的に構築された性別のあり方を指す言葉である。簡単にいえば、「男はこう(あるべきだ)」「女はこう(あるべきだ)」といった社会的枠づけを意味するものである。本講義では、われわれの「生まれる」から「死ぬ」までの身近な出来事を社会的に問い直し、受講者各自がジェンダーと日常生活、人とのかかわりを通じた共生社会の構築の意味を実感できるようにすることを目標とする。						
到達目標	1. ジェンダーの概念と歴史、日常社会におけるジェンダー問題とその課題について説明することができる。 2. 個人のライフコース上に存在するジェンダー問題の現状について説明することができる。 3. ジェンダーと日常生活、人とのかかわりを通じた共生社会の構築の意味を説明することができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	新聞やテレビなどで報道される現代社会における男女・家族・社会の動向に関心を持ち、授業に臨む。						
ディプロマポリシーとの 関連	【いわき明星大学のディプロマポリシー】						
	○	1. 幅広い教養と専門分野についての十分な知識を身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 人々の多様な考えやニーズを理解し、他者と円滑なコミュニケーションをとることができる。					
	○	3. 広い視野と判断力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態にも適切に対処することができる。					
		4. 地域社会の一員としての自覚をもち、地域に貢献できる社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. ジェンダーの概念について説明することができる。 2. 日常生活におけるジェンダー問題の現状について説明することができる。 3. 人とのかかわりを通じた共生社会の構築の意味を説明することができる。	1. ジェンダーの概念について、セックスと対比しながら説明することができる。 2. 個人のライフコース上に存在するジェンダー問題の現状とともに、その課題・対策について説明することができる。 3. ジェンダーと日常生活、人とのかかわりを通じた共生社会の構築について、具体的な事例を取り上げて説明することができる。

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)	○	○					70%
小テスト・授業内レポート	○	○	○		○		20%
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加			○	○			10%

課題、評価のフィードバック	1.毎回の質問や感想などについては、次回の授業でコメントする。 2.ミニ・レポートについては、評価基準を示した上で、返却する。
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	ジェンダーとは(ガイダンス)	ジェンダーの概念と歴史、日常社会におけるジェンダー問題とその課題について説明できる。	
	第2回	生まれることとジェンダー	子どもの社会化の過程、しつけの国際比較など、子どもの発達とジェンダーとのかかわりについて説明できる。	
	第3回	学ぶこととジェンダー	学校文化をジェンダーの視点から問い直し、隠れたカリキュラム、教科書、男女平等教育の方向性などについて説明できる。	
	第4回	愛することとジェンダー	われわれが抱く恋愛、結婚・離婚、再婚などのジェンダー・イメージの実態と課題、現代社会の結婚の意味について説明できる。	
	第5回	働くこととジェンダー	わが国における就労、家事労働の現状など、今後の男女共同参画社会の実現にむけた課題について説明できる。	
	第6回	家族とジェンダー	国際比較の視点から、個人のライフコースを尊重した生き方を考え、今後の夫婦・親子などの関係と役割について考察を加えることができる。	
	第7回	育てることとジェンダー	子育てと性別役割分業、育児休業制度、ワーク・ライフ・バランスなど、少子高齢社会における子育ての問題と課題について説明できる。	
	第8回	個人の悩みと社会問題(1)	セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、ドメスティック・バイオレンスなど、現代社会におけるジェンダー問題と課題について説明できる。	
	第9回	個人の悩みと社会問題(2)	異性愛、同性愛、両性愛などの性の多様性、セクシュアル・ライツの重要性など、現代社会におけるジェンダー問題と課題について説明できる。	
	第10回	メディアとジェンダー	映画、マンガ、ドラマ、TVコマーシャルなどにおける男女関係や描かれ方、メディアにおけるジェンダー問題と課題について説明できる。	
	第11回	老いることとジェンダー	高齢者扶養、老後の経済的自立、地域社会への参加など、少子高齢社会における介護の問題と課題について説明できる。	
	第12回	死ぬこととジェンダー	死の見取り、「家」意識を残す墓、葬送など、死ぬこととジェンダーの問題と課題について説明できる。	
	第13回	国際社会とジェンダー	産む・産まないこと、国際社会におけるリプロダクティブ・ライツの重要性など、世界を視点においたジェンダー問題と課題について説明できる。	
	第14回	21世紀の共生社会構築とは	経済のグローバル化などの地球的問題とジェンダーとのかかわり、その問題解決の方向性について考察を加えることができる。	
	第15回	まとめ	ジェンダー論を総括し、現代社会を取り巻くジェンダーについての理解度を確認する。	
	試験	試験を実施する。		
授業の進め方	①教科書・配布プリントに従って授業を進める。②毎回、小レポートを提出してもらう。③最終試験を実施する(教科書・配布プリント・自筆ノートを持ち込み可とする)。			
授業外学習の指示	【予習】次回の教科書(該当章)を熟読し、疑問点を明らかにしておくこと(90分)。【復習】教科書・配布プリントを復習しながら、理解できなかったところについてはさらに調べること(90分)。 (授業外学習時間: 毎週 180 分)			

教科書	伊藤公雄・樹村みどり・國信潤子著『女性学・男性学 ジェンダー論入門』有斐閣,1,900円,ISBN978-4-641-12428-8
参考書	適宜、授業内で紹介する。
参考URLなど	適宜、授業内で紹介する。
その他	